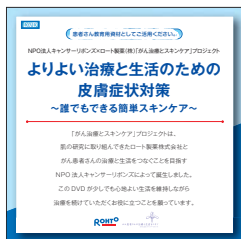


NPO 法人キャンサーリボンズ × ロート製薬(株)「がん治療とスキンケア」プロジェクト

よりよい「治療と生活」のための皮膚症状対策

～誰でもできる簡単スキンケア～

がん治療中のスキンケアのノウハウを紹介するDVDができました。
配布を希望されるご施設はFAXでお申込みください。(無料)



患者さんのQOLの低下や抗がん剤の休薬・減量などを引き起こす、EGFR阻害薬やフツ化ピリミジン系薬剤の副作用のひとつ「皮膚障害」が問題となっています。それに伴ってスキンケアの重要度が高まり、看護ケアと服薬指導の一環として、皮膚障害が出やすい治療を受ける患者さんへの教育が積極的に行われるようになりました。その際に、今回ご紹介するDVDを是非ご利用いただければと思います。

DVDでは、がん治療に伴う皮膚症状の基礎知識～スキンケアのポイントの整理～スキンケアのステップを網羅し、患者さんが実践に移しやすいよう、できるだけ具体的な「How to」を盛り込みました。また、皮膚症状が出やすい部位によってチャプターを分けるなど、使いやすさにも配慮しております。是非、患者さんへの情報提供資料としてご利用ください。

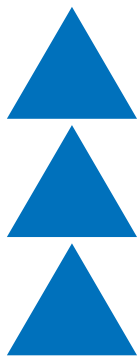
～DVDの内容～

- Chapter1** 治療に伴う皮膚症状 3分～4分
『出やすい症状』『出やすい部位』『初期症状』などについて皮膚科医の山崎先生がわかりやすく解説します。
- Chapter2** 治療中のスキンケアのポイント 8分～9分
『治療中、皮膚にどのような変化が起こるのか』『スキンケアとは何か』『なぜ治療開始時からスキンケアが必要なのか』というスキンケアの必要性和、具体的なスキンケアのポイントを解説。アニメーションも使って、患者さんの理解を促します。
- Chapter3** 実践! 簡単スキンケア 3分
『洗う、保湿する、保護する(UVケア)』のシンプルステップを、順を追ってお見せします。
市販されているスキンケア商品の選び方のポイントも紹介、日常生活にとりいれやすい内容です。
※Chapter1、2、3は①頭・顔・背中・胸②手・足と出る症状によってチャプターが分かれています。
- Chapter4** 治療に伴う爪の症状とスキンケアのポイント 5分
爪に出やすい症状と対策をまとめてご紹介いたします。
- Chapter5** 皮膚症状が出たら 2分
症状が出はじめたら具体的にどのようにすればいいのか、患者さんの疑問に答えます。



「がん治療とスキンケア」プロジェクトとは・・・

NPO法人キャンサーリボンズは、がん患者さんの「治療と生活」をつなぎ、がん患者さんの「少しでも心地よい自分らしい生活の実現」を目指して2008年に設立。スキンケアは、その目的に非常に合致したテーマであるため、趣旨に賛同したロート製薬(株)とともに2010年、プロジェクトを発足させました。これまでに、皮膚障害に関する看護セミナー、女性がん患者さんへの「スキンケアの効果及び意識調査」、第3回「がん支えあいの日」記念フォーラムでの「患者さんのための治療と生活セミナー」等を実施いたしました。



FAX申込書

キャンサーリボンス×ロート製薬「がん治療中のスキンケア」DVD係

FAX 03-5565-4914

DVDの配布をご希望されるご施設・団体は、下記にご記入の上、FAXでお申し込みください。

【申込み期限】2011年8月末日 【受付数】500施設

※お申し込み多数の場合、先着順とさせていただきます。

※お届け:2011年8月以降、順次、お届けします。

※DVDは1施設につき1枚とさせていただきます。ご了承ください。

DVDお届け先

ご施設名	
部・科名などご所属	
職 種	1. 看護師 2. 薬剤師 3. 医師 4. MSW 5. その他()
お申込み者のお名前	
施設ご住所	〒
ご連絡先電話番号	

アンケートにお答えください。今後の活動の参考とさせていただきます。

Q1. 貴施設では従来、がん患者さんの日常のスキンケアに関する患者教育・指導を実施していますか。(○は1つだけ)

1. ほぼすべての患者さんに実施している
2. 皮膚症状が出やすい治療を受ける患者さんに実施している
(⇒具体的な治療法・薬剤など)
3. あまり実施していない
4. その他(具体的に:)

Q2. 今回のDVDの使い方(予定)を教えてください。(○はいくつでも)

1. 患者さん教育用として
⇒具体的に(どんな患者さんに、どのタイミングで、どんな場所でご覧いただく、など。)
2. スタッフの勉強会などで
3. その他(具体的に:)

Q3. NPO法人キャンサーリボンスでは、今後も、副作用対策のDVDなど患者さんの「治療と生活をつなぐ」ツール制作を目指しています。必要だとお考えになる副作用対策情報や患者さん教育ツールなどあれば教えてください。